

### 管内証券会社(22社)の平成26年9月期決算の概要【速報集計値】

## 地場証券22社の当期純利益は減少するも 3期連続の黒字

(前年同期比)

○営業収益は79億円減少の309億円 (▲20.4%)

前年同期と比べ、信託報酬をはじめとした受益証券関連手数料が増加したが、株式売買高の減少により株券委託手数料が減少したことから、受入手数料は減少。また、自己売買の収益が減少したことなどから、トレーディング損益も減少。

○販売費・一般管理費は5億円減少の257億円 (▲2.1%)

取引の減少に伴い、人件費及び取引関係費が減少。

○経常損益は、74億円減少の52億円 (▲58.5%)

○当期純損益は、96億円減少の55億円 (▲63.4%)

(管内証券会社(22社)の黒字会社は、20社から19社へ減少)

(単位：億円)

	24年9月期	25年9月期	26年9月期	前年同期比	増減率
営業収益	184	389	309	▲79	▲20.4%
受入手数料	122	285	222	▲63	▲22.1%
うち株券委託手数料	51	192	121	▲71	▲36.9%
うち受益証券関連手数料	63	80	88	8	9.9%
トレーディング損益	40	74	59	▲15	▲20.3%
うち株券等トレーディング損益	7	33	24	▲8	▲26.0%
うち債券等トレーディング損益	31	40	34	▲6	▲15.8%
金融収益	19	28	27	▲1	▲4.5%
販売費・一般管理費(▲)	214	262	257	▲5	▲2.1%
営業損益	▲34	120	46	▲74	▲61.4%
経常損益	▲29	126	52	▲74	▲58.5%
当期純損益	7	151	55	▲96	▲63.4%

※ 期毎に社数の変動があるため、24年9月期及び25年9月期の計数については、26年9月期の22社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。

# 管内証券会社の平成26年9月期 決算の概要 (参考資料)

平成26年12月25日  
近畿財務局



# はじめに

➤近畿財務局管内に本店を置く証券会社(22社)の平成26年9月期決算について、とりまとめを行いましたので公表します。

管内の証券会社(各府県別、金融商品取引業登録番号順)

## 【大阪府内】

永和証券、エース証券、岡安証券、プレジアン証券、光世証券、岩井コスモ証券、高木証券、内藤証券、日の出証券、ひびき証券、広田証券、池田泉州TT証券

## 【京都府内】

西村証券、丸近証券、都証券、六和証券

## 【兵庫県内】

相生証券、篠山証券、西脇証券、播陽証券、光証券

## 【奈良県内】

奈良証券

※各計数は、当局調査に基づく暫定の計数(単体ベース)を集計したものであり、今後変動する可能性があります。

なお、期毎に社数の変動があるため、24年9月期及び25年9月期の計数については、26年9月期の22社ベースで比較しています。その結果、これまでに当局が公表した計数とは異なる場合があります。

※億円未満を切捨てで表示しておりますので、計数は必ずしも一致しません。

※「全国」の計数は、全国の証券会社のうち金融庁長官の指定する証券会社(大手・外国証券等)以外の証券会社の集計値です。

(営業収益の項目説明)

※株券委託手数料:株券の委託売買に係る手数料

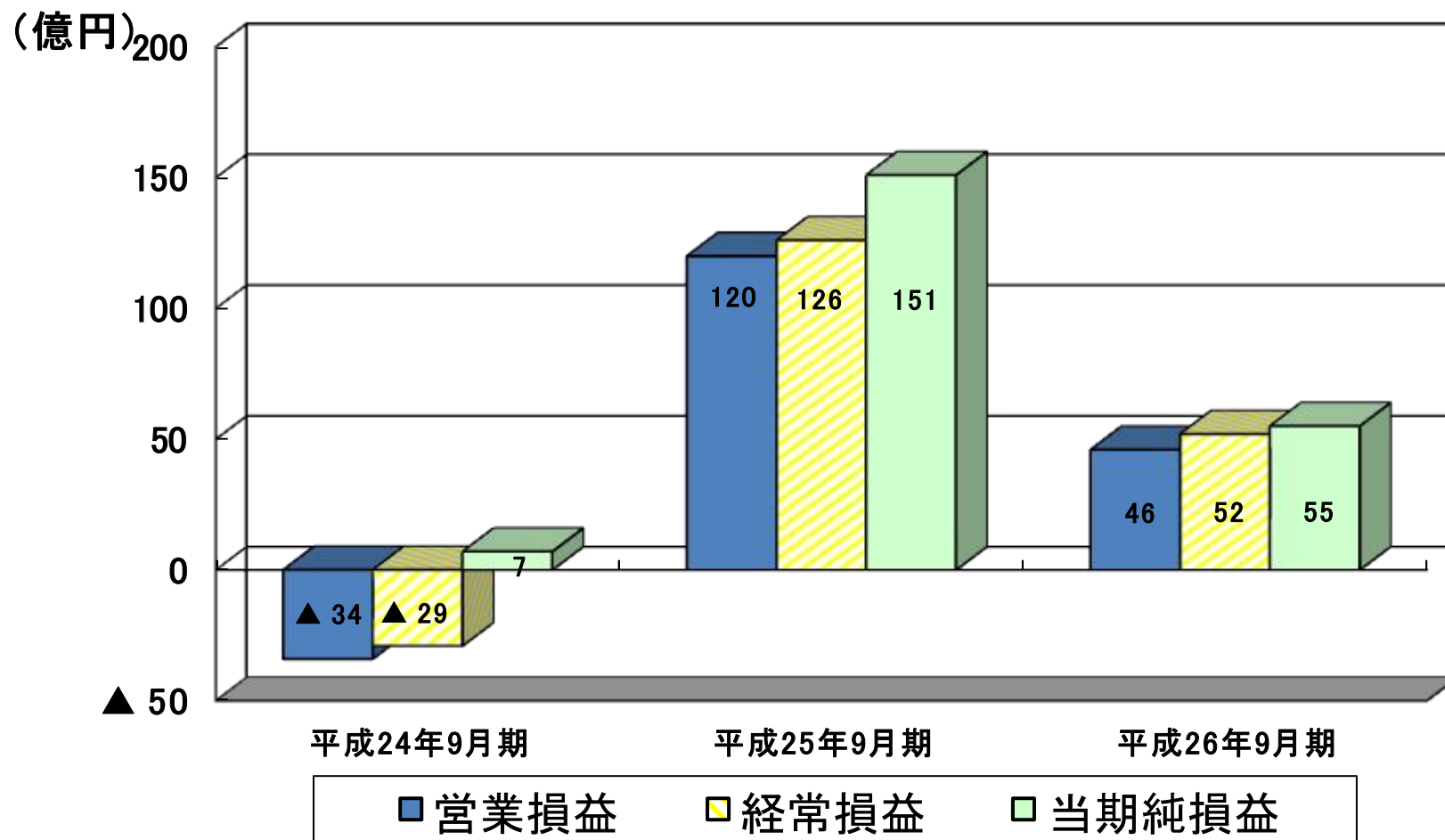
※受益証券関連手数料:投資信託の募集等に係る取扱手数料及び信託報酬

※トレーディング損益:自己の計算により売買した有価証券等の取引損益

※金融収益:信用取引収益(自己融資の受取利息及び品貸料)、受取配当金・受取債券利子等

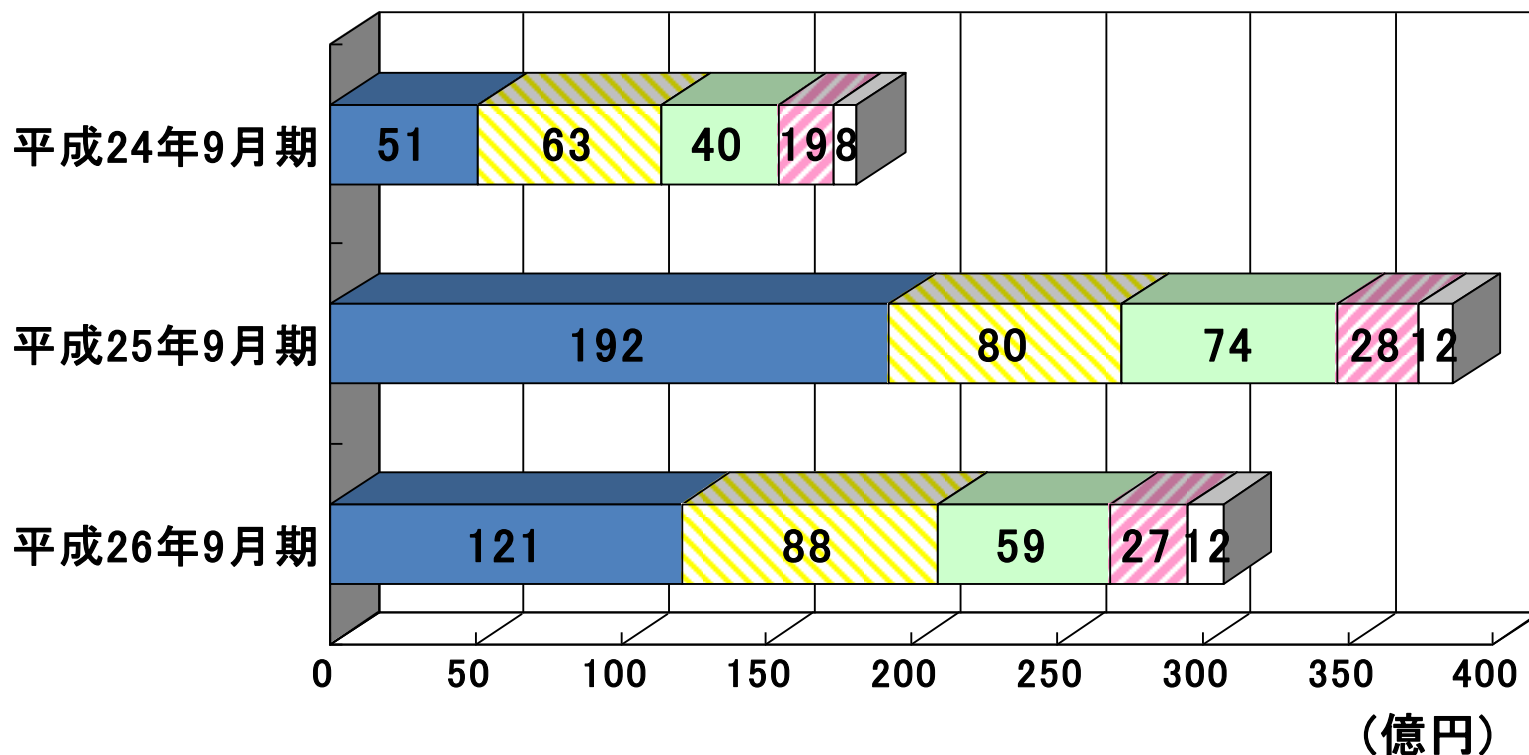


# 営業損益、経常損益及び当期純損益の状況



# 営業収益の状況

営業収益内訳金額の推移

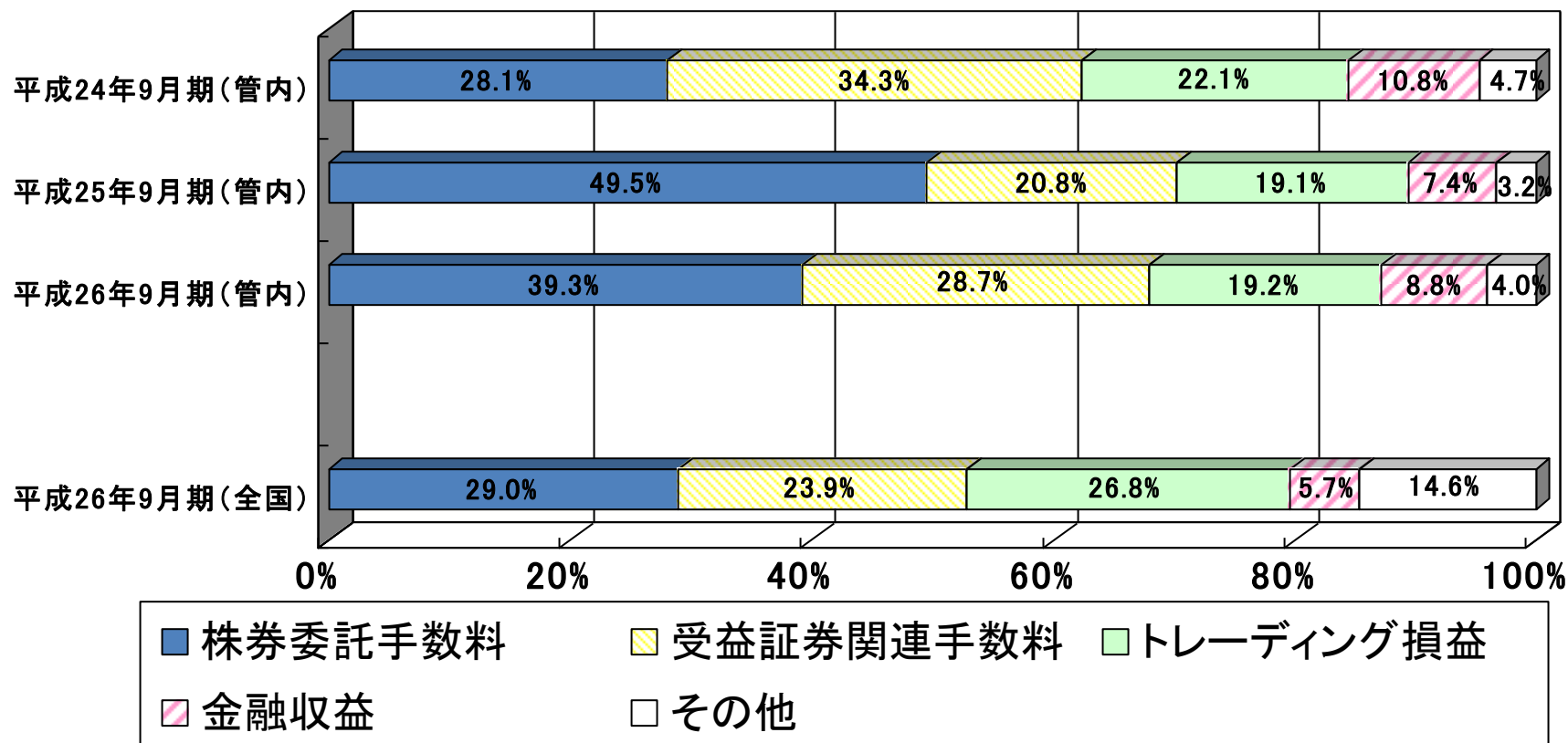


■ 株券委託手数料 ■ 受益証券関連手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 □ その他



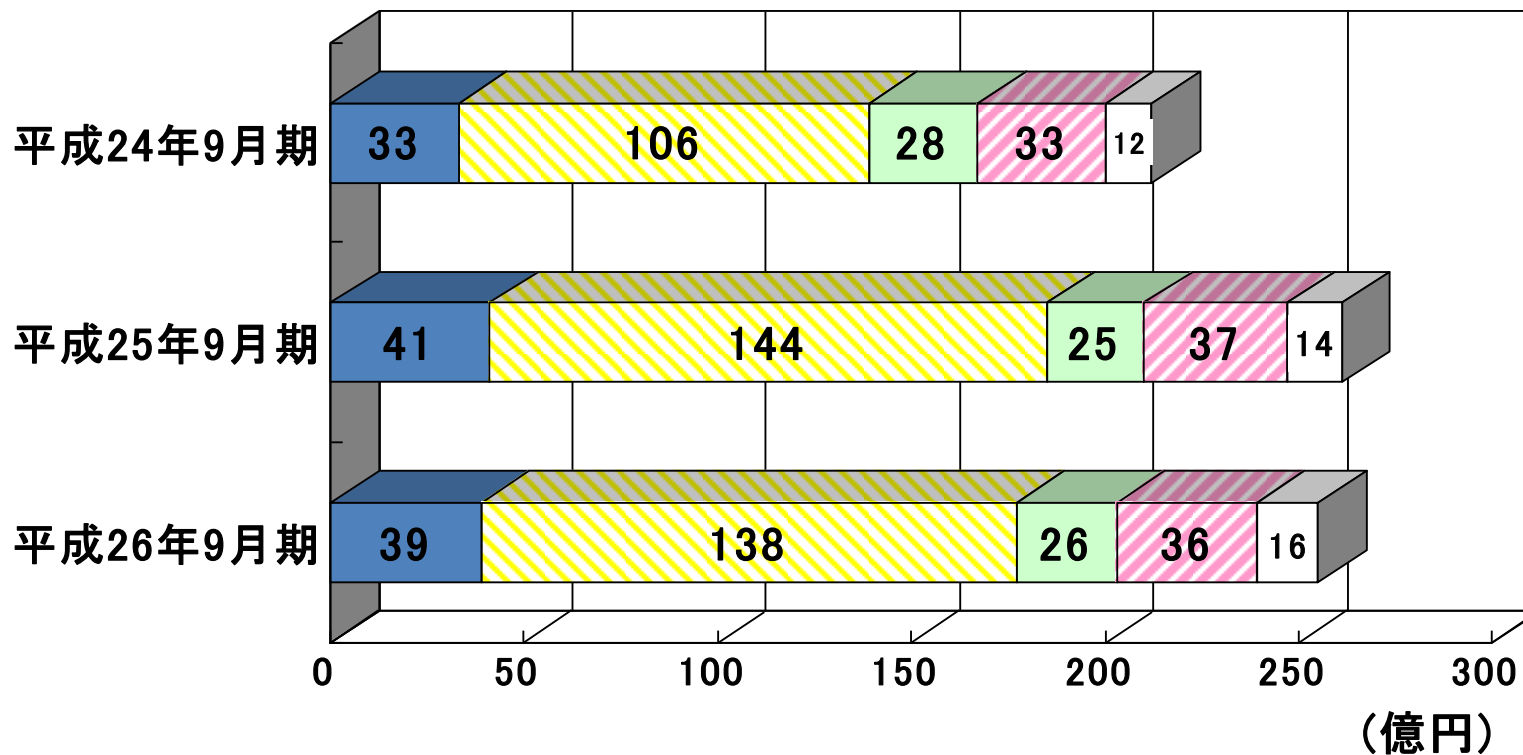
# 営業収益の構成状況

## 営業収益の構成割合の推移



# 販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費内訳金額の推移



■ 取引関係費 ■ 人件費 ■ 不動産関係費 ■ 事務費 □ その他

